

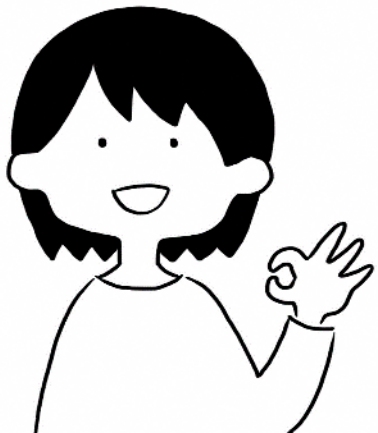
# 地域学校協働活動を進めるにあたって

2022.5.18/25

# 本日の学習目標

---

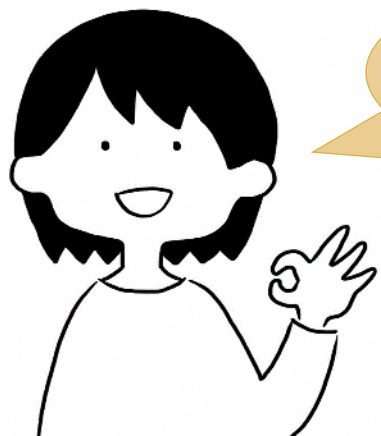
- 原点にかえて…考えるきっかけに
- イマドキの私たち学校・地域コーディネーターは？
- モヤモヤが、一つでもなくなれば
- 活動のモチベーションUPにつながる…といいな



※ そのために一緒に考えましょう！  
高橋の目標…

## 本日研修の私の目的・目標

---

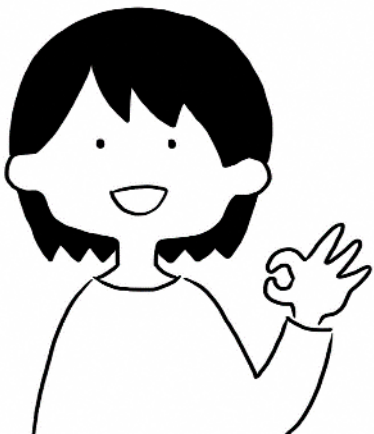


目的・目標は何か  
何のために...

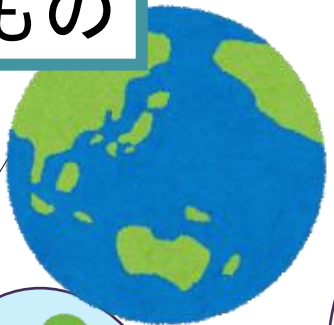
# 「地域」って？

本日のお隣さんとお話してみても...

- ① 学校名とお名前だけ！の自己紹介



# ひと・もの



様々な活動団体



近隣校



先生



家庭



学校・地域コーディネーター



自治会町内会



市場 生産者



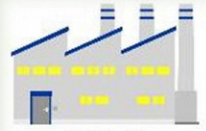
交通



行政・施設



区役所



生産工場



物流倉庫



販売店



配送トラック

企業



商店



市場 生産者



# つながる視点

地域の一人ひとりに直接声をかけて仲間を集めつなげていく

アンケートや広報・宣伝をしてつなげていく  
(写真などで活動をわかりやすく紹介)

キャラクターやマスコットを作成して名札につける

自治会町内会・PTA・地域の団体の代表とつながり紹介してもらう

所属している団体や過去の活動を振り返る

校長面接になるときもあるので説明は丁寧に！

おそろいのジャケットや名札を作成

HP検索・名刺・研修の時の資料を見直す

HP開設や情報誌発行

キーワード「あなたの力が必要です！」

匠が見つかることも...

多世代に会える！

企画に合った人材選び

民生員さん・スポーツ推進員さん等のつながり

知り合いの知り合い...

地域交流会や行事に参加

名刺を作る！

## 地理的な範囲としての地域

- ☆コーディネーターを配置している単位
- ☆中学校区くらい...
- ☆子どもたちが歩いて行動できる範囲

## つながる範囲としての地域

- ☆活動内容によりひろがる

自治会町内会

小学校区 中学校区

区内 方面別

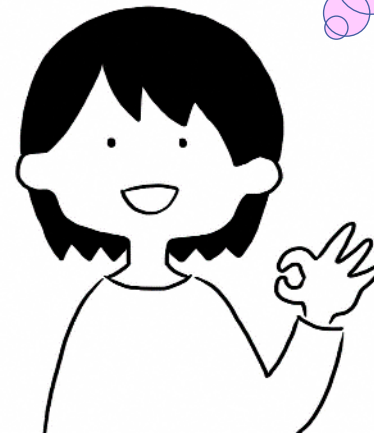
横浜市 神奈川県

1都3県 関東 日本

アジア 世界 宇宙

※インターネットですぐ目の前に...

柔軟に  
想像してみてください！



## 1 コーディネート機能

より幅広い地域住民や団体等の参画を得て、

学校との連絡調整を行い、

緩やかなネットワークを形成する



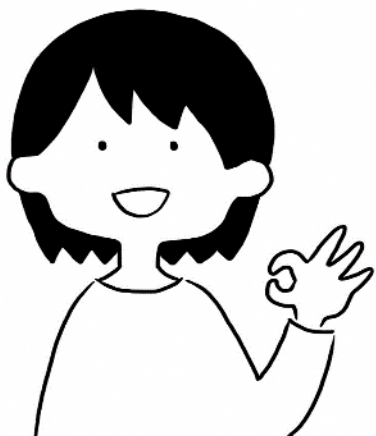


ところで、先ほどの指導主事のお話の中に「教育」ってこどばがたくさんでてきたのを覚えている？

「教育」と聞いて  
思う浮かべるのは？

前後の4人くらいのグループで

② 先ほどのお隣さんを一言付けて他己紹介



「教育」と聞くと学校をイメージするかもしれませんが、「教育」は学校の周りにはある様々な機関や、地域、家庭などと関係しています。

例えば、いじめや不登校、子どもの貧困、学力格差などの問題に対して、学校という狭い視野ではなく、社会の問題として捉えてみると、多くの課題が見えてきます。



- 少子化・高齢化の進展、地域のつながりの希薄化等を背景に、子供たちを取り巻く地域力が衰退。
- 各地域が抱える課題は様々であり、各地域の課題に応じた取組が必要。
- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校・家庭・地域の連携・協働による取組が必要不可欠。



学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業等を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに、一億総活躍社会及び地方創生の実現を図る。

(文科省：学校と地域でつくる学びの未来参考)

## まちづくりの視点

### ①コーディネート機能

- 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター含む）を中心に、地域学校協働活動全体としての目標・ねらいが共有できる。
- 様々な分野に強みを持つ人々が集うことにより、コーディネーター個人を超えた、より広い地域人材の確保・ネットワークの構築が可能に。

### ②多様な活動

- 多様な人材・活動がつながることにより、興味関心や思いを同じくする仲間ができ、そこから新たな活動が生まれる。
- 実施する活動が多種多様なものになることにより、参加できる活動やメニューが広がるため、活動に参加できる子供や地域の方が増える。

### ③継続的な活動

- 関係する様々な人材が有するネットワークを活用できるため、コーディネーター個人の人脈に依存せず、継続的に活動することが可能に。
- 様々な活動・人材の情報を共有できるため、活動間での偏り（参加される地域の方の人数、開催場所、時間等）を調整し、安定的に活動が可能に。

# 社会教育

## 「地域学校協働活動」

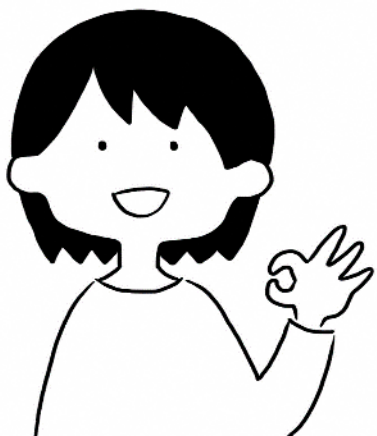
- ◆ 学校支援活動
- ◆ 外部人材を活用した教育支援活動
- ◆ 放課後子供教室
- ◆ 家庭教育支援活動
- ◆ 地域社会における地域活動 学びによるまちづくり

（社会教育法第5条2項）

# 学校教育

# 家庭教育

新学習指導要領の理念  
「社会に開かれた教育課程」



**第五条** 市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会は、社会教育に関し、当該地方の必要に応じ、予算の範囲内において、次の事務を行う。

一～十二（略）

十三 主として学齢児童及び学齢生徒（それぞれ学校教育法第十八条に規定する学齢児童及び学齢生徒をいう。）に対し、学校の授業の終了後又は休業日において学校、社会教育施設その他適切な施設を利用して行う学習その他の活動の機会を提供する事業の実施並びにその奨励に関すること。

十四 青少年に対しボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の機会を提供する事業の実施及びその奨励に関すること。

十五 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して学校、社会教育施設その他地域において行う教育活動その他の活動の機会を提供する事業の実施及びその奨励に関すること。

十六～十九（略）

2 市町村の教育委員会は、前項第十三号から第十五号までに規定する活動であつて地域住民その他の関係者（以下この項及び第九条の七第二項において「地域住民等」という。）が学校と協働して行うもの（以下「地域学校協働活動」という。）の機会を提供する事業を実施するに当たつては、地域住民等の積極的な参加を得て当該地域学校協働活動が学校との適切な連携の下に円滑かつ効果的に実施されるよう、地域住民等と学校との連携協力体制の整備、地域学校協働活動に関する普及啓発その他の必要な措置を講ずるものとする。社会教育法（昭和24年法律第207号、最終改正平成29年法律第5号）抜粋

**第六条** 都道府県の教育委員会は、社会教育に関し、当該地方の必要に応じ、予算の範囲内において、前条第一項各号の事務（同項第三号の事務を除く。）を行うほか、次の事務を行う。一～五（略）2 前条第二項の規定は、都道府県の教育委員会が地域学校協働活動の機会を提供する事業を実施する場合に準用する。

**第九条の7** 教育委員会は、地域学校協働活動の円滑かつ効果的な実施を図るため、社会的信望があり、かつ、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者のうちから、地域学校協働活動推進員を委嘱することができる。

2 地域学校協働活動推進員は、地域学校協働活動に関する事項につき、教育委員会の施策に協力して、地域住民等と学校との間の情報の共有を図るとともに、地域学校協働活動を行う地域住民等に対する助言その他の援助を行う。

# 学校教育

新学習指導要領の理念 「社会に開かれた教育課程」

教育課程を介して  
目標を学校と  
社会が共有

子供たちの育成  
すべき資質・  
能力を明確化

地域の人的・物的資源の活用、  
社会と共有・連携しながら、  
開かれた学校教育を展開

# 社会課題

教員の働き方改革の必要

保護者の学校に対する  
ニーズの多様化

学校を取り巻く問題の  
複雑化・困難化

児童・生徒指導に関わる 課題の複雑化

少子化・核家族化・都市化・情報化等の  
経済社会の変化

世の中の変化の  
スピード

地域における  
教育力の低下

地域における地縁的なつながりや  
地域の間人関係の希薄化

子ども



学校・地域コーディネーター

## 2 多様な活動

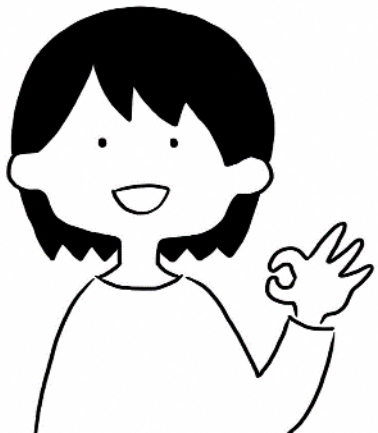
従来の地域住民等に加え、NPO、民間企業などにも  
学校の教育活動に参画していただき、

地域と学校が目標を共有して  
双方向の活動を進めていきます。



学校の周辺に住んでいる保護者や企業の方が学校と一緒に、  
将来の社会を背負って立つ子どもたちが成長するために、  
色々な活動をしよとうことです。  
また、そのことで地域住民同士のつながりが深まるなど、  
学校を中心としてよりよい社会になっていくとうことです。

2017年3月に改正された**社会教育法**において、「教育委員会の施策に協力して、地域住民等と学校との間の情報の共有を図るとともに、地域学校協働活動を行う地域住民等に対する助言その他の援助を行う」ための「地域学校協働活動推進員」が法制化されました。

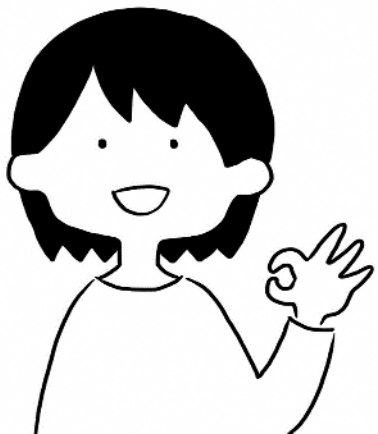


## 具体的には何を？

- 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案・運営
- 学校や地域住民、企業・団体・機関等の関係者との連絡・調整
- 地域ボランティアの募集・確保
- 地域学校協働本部の事務処理・経費処理
- 地域住民への情報提供・助言・活動促進 等

「地域学校協働本部」  
組織的で継続的に活動する

ポイント  
自立して活動をする  
学校の付属とか下請けではない！





### 3 継続的な活動 (継続・安定)

学校の教職員や地域学校協働本部の構成員がかわっても、  
継続的に地域住民が参画し、安定して活動をめる





## 世の中の変化のスピード



### 近年のコロナ流行前に起こっていた変化

「社会全体の仕組みが変わる」というレベルの大きな変化は、徐々に移行し普及していく



### コロナ流行により劇的な変化を余儀なくされた

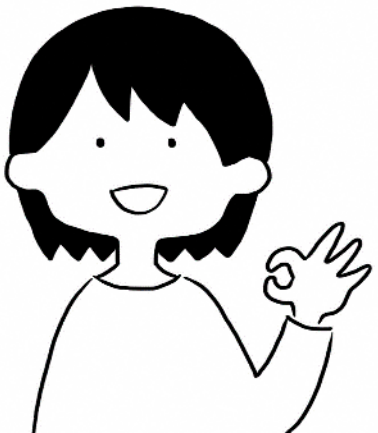
私たちはライフスタイルや働き方などの急激な変化を余儀なくされました。このような急激な変化は、コロナが流行しなくても、「そのうち起こる変化」だったわけですが、それが「急加速した」

では、「継続」の秘訣は？

「継続」って  
どうするの？

前後の4人くらいのグループで

③ 先ほどのグループで再び



継続はちからなり。頑張る

例年通り？

コロナか前に戻そう？

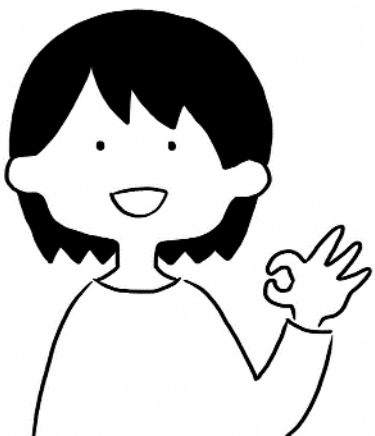
ボランティアを募ることから？

学校の教職員や地域学校協働本部の構成員がかわっても・・・

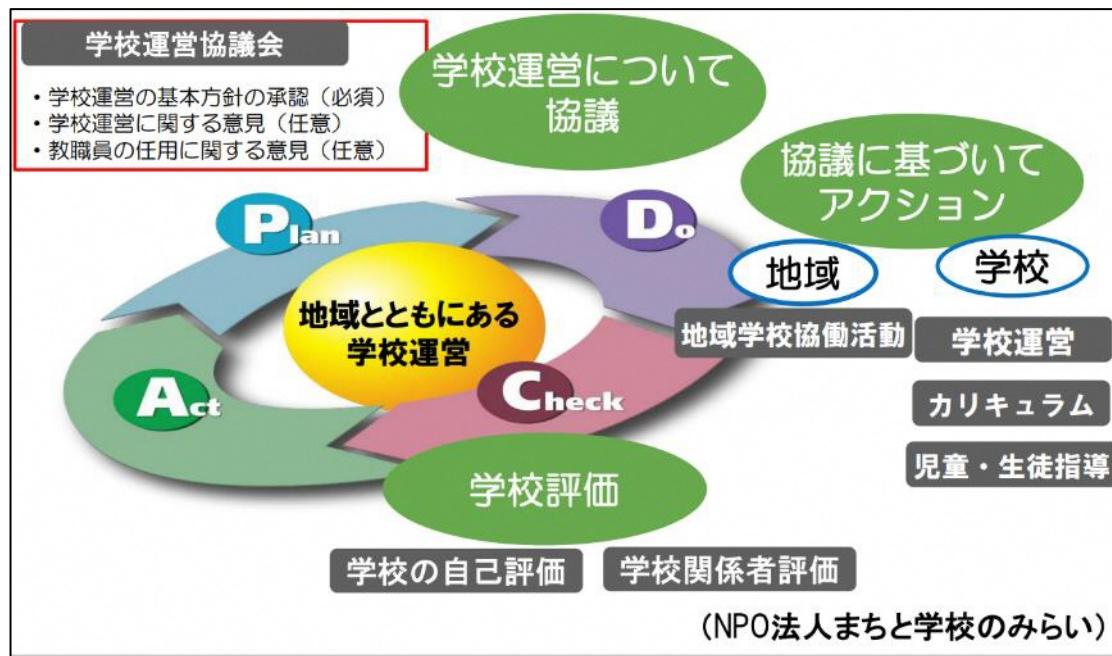
学校と話し合う



どんな意見が出ましたか？



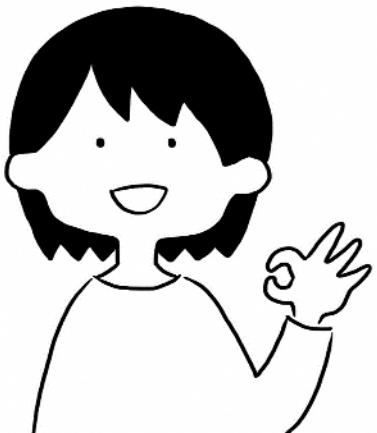
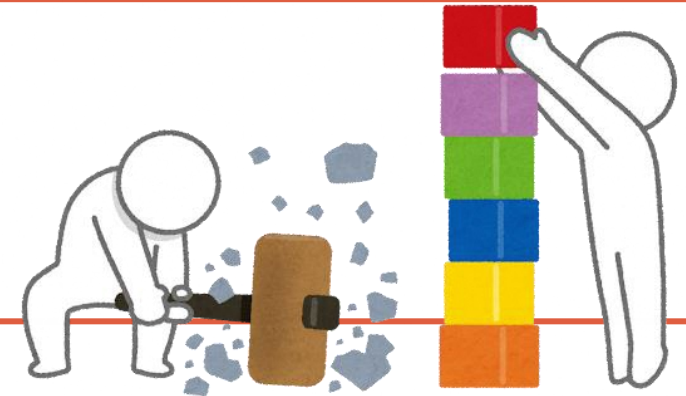
この図が  
ヒントに！  
P・D・C・A



目的意識「その活動はなんのため？」



ふりかえり「その活動、必要？」  
スクラップ&ビルドの視点



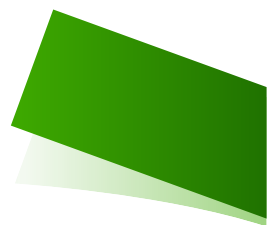
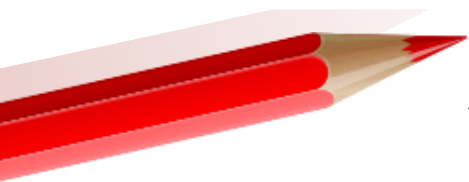
「地域と学校とのつながり、  
次の世代へのつなぎについて」も意識して



## 私の失敗談！



- 自分が良いことと思っていることが  
すべての人にとって受け入れられ  
ることではない！

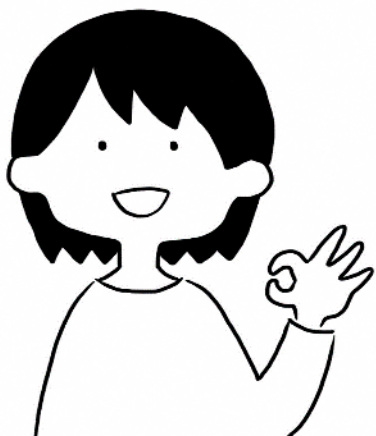


最後に表題の...

「地域学校協働活動を進めるに  
あたって」必要なこと

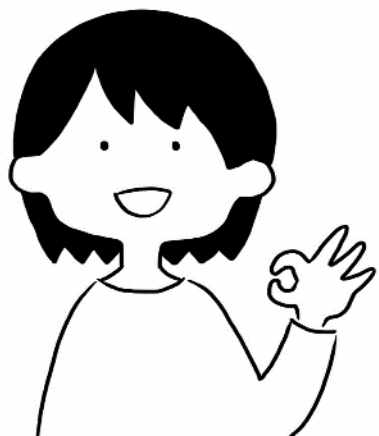
前後の4人くらいのグループで

④ 先ほどのグループで再び



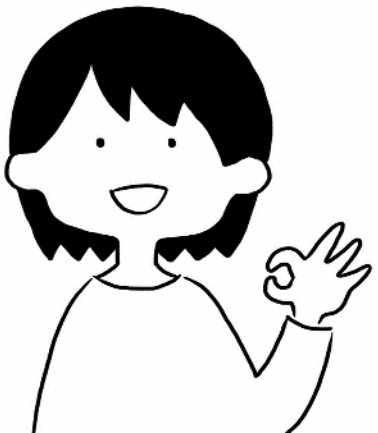
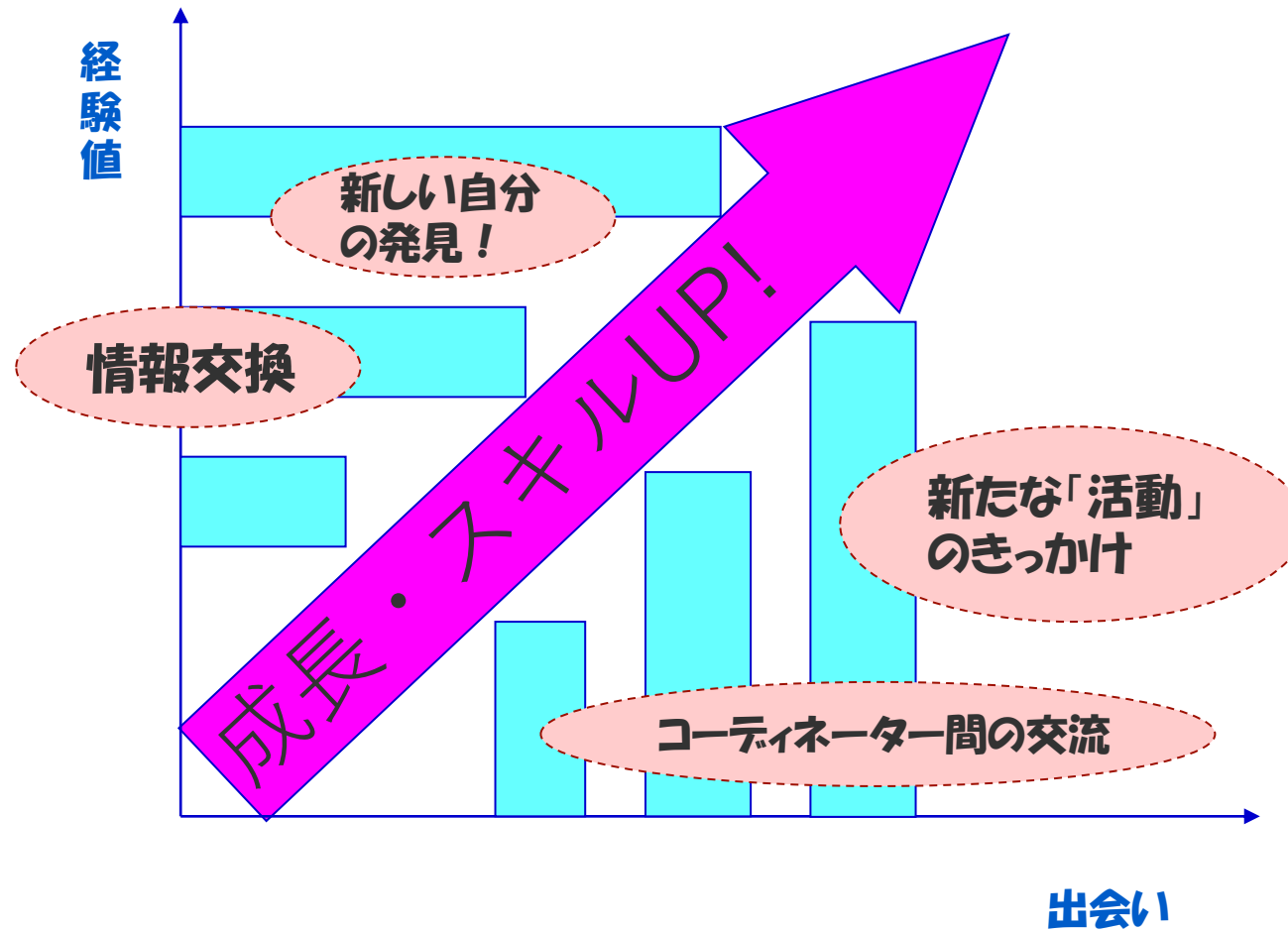
コーディネーターの  
研修や交流会

情報収集





# コーディネーターの研修や交流・情報交換会の必要性



学校・地域連携推進 横浜市



学校と地域でつくる学びの未来



横浜市連絡会  
区単位の連絡会

自主的な  
研修交流会の開催

情報収集  
横浜市や文科省の  
ホームページ

自治会町内会  
地域団体・放課後  
キッズ・PTAなど

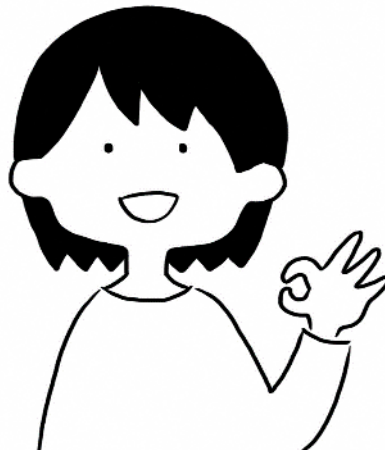
横浜市学校支援地域連課  
区単位研修会

情報収集  
会議や集まり

行政主導の研修会  
への参加

ケアプラザ・地区  
センター・市民区  
民センター・・・

情報収集  
施設



こらからの研修について（例）

\* 活動ステージ（初任者・中堅・ベテラン）に応じた研修

・ 初任者は、「コーディネーターとは」「活動ノウハウ」

・ 中堅者は、主体的に研究会を作っても良い

・ ベテランは、教育全体を俯瞰した課題を理解する研修

例 ・ 社会に開かれた教育課程

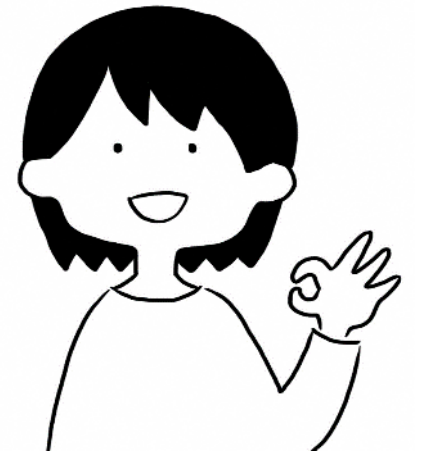
・ 教育とユニバーサルデザイン・教育とジェンダー等

・ SDGs と地域学校協働活動

\* 他校のコーディネーターとの情報共有

・ 実践事例の共有

・ 地域の教育資源の共有





学校・地域コーディネーターは  
地域と学校をつなぐ「ちから」を持っている

下ばかり見ているとせっかくのいい景色を見逃してしまう...  
広い視野と... 視点を変える想像力...

私の持っている  
「ちから」は...



笑顔



健康

なかま

本日の講座を少しでも楽しんでいただけていたら...

今日は同じ時間を過ごすご縁をいただき、ありがとうございました。またお会いしましょう！